

Peugeot 0106/0206

106【S2S】・306【N5】・206【S16】SRS 付車専用取説

装着前に必ずお読み下さい。

- ・本書に使用している写真は 206 用ですが 106/306/Saxo も同様です。
- ・理論上、運転席エアバック(以下:SRS)を取り外しても、警告灯が消灯されていればハンドル以外のエアバッグは作動するはずですが、完全な作動は保証出来ません。
- ・運転席 SRS を取り外すことにより、任意保険の契約内容の変更の手続きが必要になる場合があります。ご加入の保険会社にお問い合わせください。
- ・純正ステアリングにホーン以外のスイッチ類が装備されている車種は、その機能が使用出来なくなります。本体側で操作して下さい。
- ・本製品は 2 ピース構造になっており、上部(アッパー)と下部(本体)はボルトで工場出荷時に規定のトルクで締め付けてあります。絶対に緩めないで下さい。
- ・稀に車両の電気的特性により、SRS警告灯が消灯できない場合があります。ご了承下さい。
- ・純正ハンドルの取り外しについては各自動車メーカーの整備指示書(解説書)に従って作業して下さい。本書での取り外しはあくまでも参考程度にしてください。
- ・バッテリー端子を取り外すことによりオーディオやパワーウィンドウが初期化されます。復元方法は事前にお調べください。
- ・ステアリングは重要保安部品に該当しますので、しかるべき知識や技術をお持ちの専門店などに作業をご依頼ください。

装着手順

1、作業開始準備

装着前にタイヤとステアリングホイールを直進状態にして下さい。

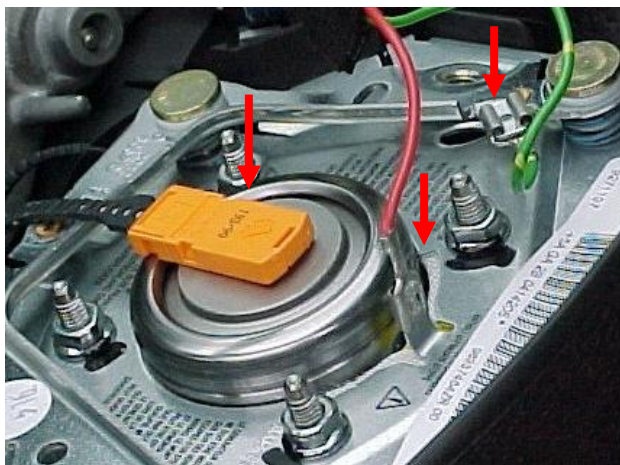
2、バッテリー端子の取り外し

バッテリーのマイナス端子を外して下さい。

作業が完全に終わるまで絶対に端子を接続しないで下さい。

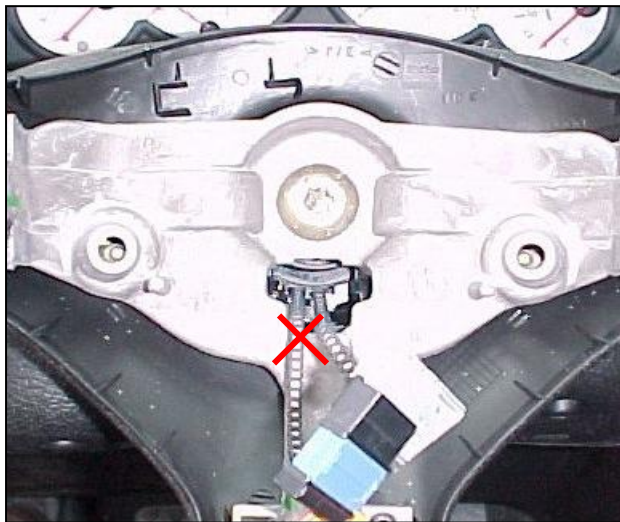
3、SRS の取り外し

純正ステアリングの裏側2ヶ所の穴からトルクスレンチ(T30)を使用してボルトを緩めて下さい。



SRS本体裏側のSRSコネクターとホーン配線2ヶ所を外して下さい。(106/306/Saxo にはホーン用配線はありません)
オーディオリモコン装着車はリモコン線の端子も外して下さい。
取り外したSRS本体には絶対に電気を流さないで下さい。(テスター等も含む)

4、ステアリングの取り外し



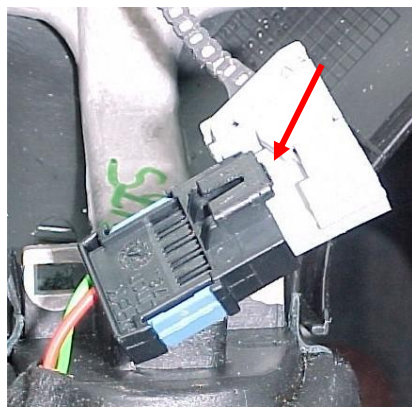
車両の整備指示書を参考にステアリングを取り外します。

ステアリングを完全に外す前にシャフトの先端などにトップの目印を付けておくと、ボスを装着する際にわかりやすくなります。

この時車体側スパイラルケーブルは絶対に回さないで下さい、左右の回転数が決まっていますので、回転させてからボスを取り付けると中の配線を切断します。

※106/306/Saxo は左側から配線が出ています。

5、ホーン用カプラーの取り外し(106/306/Saxo にはありません。)



車体側から出ているホーン用カプラーを外して下さい。

(これを外さないと純正ステアリングの穴からハーネスが抜けません。)

6、ボスの取り付け



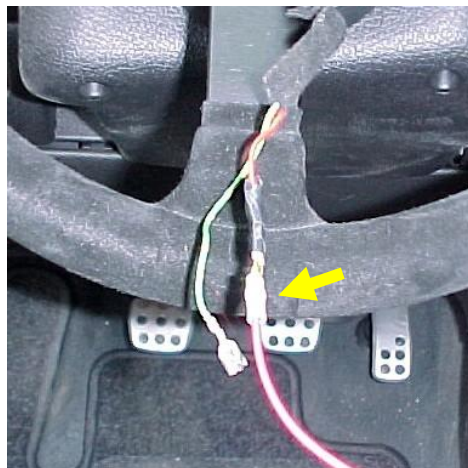
ボスのTOPマーク(・)を12時方向にし、配線類をボスの中に引き込みつつ 4 で印を付けた角度に合わせてシャフトに挿入します。

取り付けする社外ステアリングをボスに仮止めし、タイヤとステアリングのセンターが合っているか確認してください。

取り付け角度に問題が無ければステアリングを一旦外し、純正センターボルトを仮止めします。1山以下のズレはボスでは修正できませんので、足回りの調整でセンターを出してください。

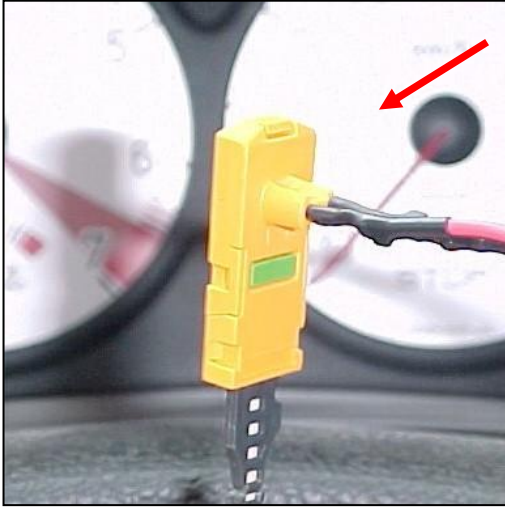
SRS ハーネスとホーンハーネスをボスの穴から通し、トップマークを上にしてボスを装着して、206/406 のみ 5 で外したカプラーを差込みます。

7、配線の接続(206 のみ)



車体側から出ているホーン線の内、赤い線に付属の変換ハーネスを差込みビニールテープで接続部分を絶縁して下さい。

8、SRS 警告灯対策



付属のジャンパー線をSRSコネクターの2ヶ所の穴に挿入してビニールテープ等で外れない様に固定して下さい。ジャンパー線には極性はありません。(この線を使用しない又は接触不良ですと取り付け終了後、イグニッションキーを入れた時、モニターランプが消えません、消灯させる為にはディーラーの診断コンピューターが必要になります。)

9、ステアリングの取付け

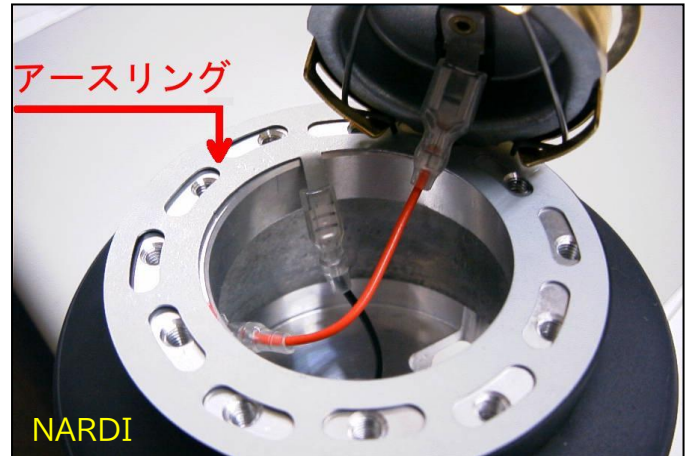
ステアリングホイールをカッターリング(ホーンリング)及びアースリングを挟んでボスに取付けます。

ホーンボタンの極数によりアースリングを挟まない場合があります。

1極の場合はアースリングを使用し、2極の場合は使用しません。

モモサイズのホーンボタン(φ50)はカッターリングを使用し、ナルディサイズのホーンボタン(φ55)はカッターリングを使用しません。

取り付けする社外ステアリングホイールをボス付属のネジで取り付けします。ステアリングの種類により使い分けてください。ネジの締め付けトルクは $676\text{N}\cdot\text{cm}$ です。



10、ボス本体の締め付け

トルクスレンチを使用して純正センターボルトを規定トルクで締めて下さい。

締め付けトルクは $30\text{N}\cdot\text{m}$ です。

11、ホーンボタン取り付け

1極タイプのホーンボタンの場合は車体側から出ているアース線をそのままアースリングに差し込むか、付属の黒色変換配線をアース配線に挿し変換してからアースリングに接続します。

2極タイプのホーンボタンの場合は必要に応じ配線を加工してホーンボタンに接続してください。

12、最終確認

バッテリー端子を接続して、ウインカー、ホーンのテストをし、エンジンをかけてSRSモニターランプが消灯するのを確認して作業終了です。

株式会社ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-70-1477 FAX 0266-79-4706

Email: support@worksbell.co.jp

URL: <http://www.worksbell.co.jp>